

ポスターセッション | HLHS・類縁疾患

ポスターセッション-外科治療01 (P70)

HLHS・類縁疾患

座長:

磯松 幸尚 (横浜市立大学 外科治療学心臓血管外科・小児循環器科)

Wed. Jul 6, 2016 6:00 PM - 7:00 PM ポスター会場 (天空 ノース)

P70-01~P70-06

6:00 PM - 7:00 PM

[P70-06]肺動脈絞扼手術時の術中経食道心エコーによる肺静脈 verocity time integral (VTI)測定の意義

○白石 修一¹, 杉本 愛¹, 文 智勇¹, 高橋 昌¹, 土田 正則¹, 今井 英一², 吉田 敬之², 大橋 宣子², 番場 景子² (1.新潟大学 医歯学総合病院 心臓血管外科, 2.新潟大学医歯学総合病院 麻酔科)

Keywords:経食道心エコー、肺動脈絞扼術、VTI

【はじめに】術中経食道心エコー(TEE)により計測した肺静脈還流血流(PV-return)の verocity-time integral (VTI)の術前後の変化を後方視的に検討する。【方法】2011年1月から当院で行った初回肺動脈絞扼術のうち、術中 TEEにより PAB前後の PV-return VTIの計測が可能であった32例を対象とした。VTIは右上肺静脈(RUPV)、右下肺静脈(RLPV)、左上肺静脈(LUPV)、左下肺静脈(LLPV)の4か所で計測を行い、右肺静脈 $RPV-VTI = RUPV-VTI + RLPV-VTI$ 、左肺静脈 $LPV-VTI = LUPV-VTI + LLPV-VTI$ として算出した。対象は主肺動脈絞扼群(mPAB群:21例)と両側肺動脈絞扼群(BPAB群:11例)に分けて検討を行った。【結果】PAB手術時年齢は2生 日~5か月、手術時体重 3.4 ± 1.0 kg。診断は HLHS/variant 6例、CAVSD 6例、CoA/IAA complex 6例、SRV(Asplenia) 4例、DORV 3例、Truncus 2例、その他5例。mPAB群では PAB前後で SaO_2 $93.3 \pm 6.4\% \rightarrow 85.8 \pm 7.4\%$ に低下し PAB flow 3.54 ± 0.45 m/s、 $RPV-VTI$ 37.1 ± 9.7 cm $\rightarrow 22.2 \pm 7.7$ cm ($p < 0.001$)、 $LPV-VTI$ 34.8 ± 8.0 cm $\rightarrow 25.3 \pm 11.2$ cm($p < 0.001$)に変化した。BPAB群では PAB前後で SaO_2 $93.2 \pm 3.1\% \rightarrow 80.1 \pm 4.2\%$ に低下し PAB flow 2.85 ± 0.37 m/s、 $RPV-VTI$ 37.1 ± 13.6 cm $\rightarrow 20.3 \pm 6.9$ cm ($p = 0.0194$)、 $LPV-VTI$ 36.2 ± 9.9 cm $\rightarrow 21.2 \pm 8.1$ cm($p = 0.0072$)に変化した。mPAB群と BPAB群との間に VTIの変化に有意な差は認めなかった。【まとめ】PAB手術時における TEEによる PV-VTIは肺血流量を反映し絞扼調節の評価に有用である可能性がある。